

教科のカリキュラムをどうつくるか

—パフォーマンス評価を活かして—

京都大学大学院教育学研究科 西岡 加名恵

次の学習指導要領改訂に向けて、「資質・能力」の育成やアクティブ・ラーニングが強調されている。しかしながら、その半面では、教科の知識（内容）が十分に保障されるのか、という懸念も指摘されている。また、引き続き「論述やレポートの作成，発表，グループでの話し合い，作品の制作等といった多様な活動に取り組ませるパフォーマンス評価など」を取り入れることが奨励されているものの、実際にどのようにパフォーマンス評価を開発・実践すればよいのかという悩みの声も聞く。

そこで本講演では、教科の中核に位置するような重要な目標に対応させて、パフォーマンス課題を開発・活用することを提案したい。パフォーマンス課題とは、複数の知識やスキルを総合して使いこなすことを求めるような複雑な課題を指す。当日は、パフォーマンス課題やルーブリック（評価基準）の作り方を説明するとともに、教科のカリキュラムづくりについて考えたい。